

働くよるこび

CHOFUSHI SILVER JINZAI CENTER

第156号

《会員数》

(令和元年9月1日現在)


男 ……1,037名
女 ……604名
計 ……1,641名

令和元年10月発行

発行者：永谷 誠

調布市小島町3-87-4

TEL.042-487-9375

 公益社団法人 調布市シルバー人材センター



実篤公園班の皆さん



吹割の滝（群馬県）～紅葉～



植木の安全パトロールにて


調布市シルバー人材センター

検索

<http://www.chofu-sc.or.jp>



メール情報配信サービス「Smile to Smile」 (通称 スマスマ) の開始のお知らせ

メールで就業募集や会議・ボランティア活動等の
情報を受け取れます！

昨年度から情報の提供・充実・拡大について、検討を重ねてまいりましたが、この度メール機能を利用した情報配信サービス「Smile to Smile」（通称 スマスマ）を開始します。

多くの会員の方がこのサービスに登録していただくことで、センターと会員との連携が強化されると考えております。センターの情報をいち早く受け取ることができますので、是非ご活用ください。

「Smile to Smile」サービスについて

「センターからのお知らせ（就業募集、各種会議やボランティア活動等の案内）」や「配分金明細」の確認ができます。

サービス利用までの流れ



1 センター訪問時にサービスの申込み
(ログインID・仮パスワードの受取り)



2 「Smile to Smile」へログイン
メールアドレスと新パスワードを登録する
登録は簡単です 数分で終わります



3 サービス利用開始!! (12月予定)

登録方法等の臨時相談窓口を開設します！

◆日時：11月1日（金）9：30～12：00／13：00～16：00

11月5日（火）9：30～12：00／13：00～16：00

*10月分就業報告書の提出時にお立ち寄りください。

◆場所：シルバー人材センター事務局2F 大会議室

（当センターのパソコン班メンバーが親切丁寧に対応します）

◆持ち物：ガラ携、スマホ等の携帯電話、登録するメールアドレス

■■■登録方法以外にも、普段のメール送受信の操作など、ご不明な点があれば、

パソコン班メンバーが親切丁寧に対応します■■■

- ・「Smile to Smile」を運営する会社はNRI社会情報システム(株)（全国のシルバーの7割のシェア）
現在、当センターが使用する事務処理システムの契約先です。
- ・登録されたメールアドレスは厳重に管理し、シルバー人材センターの活動以外の目的で、
利用することはありません。
- ・サービスの利用申込・問合せ先 事務局 Tel 042-487-9375

ボランティアを考える

「ボランティア」の語源は、ラテン語の「ボランタス(voluntas) 自由意志」という意味から来ています。一般的にボランティアを一文で定義づけると「自発的な意志に基づいて、人や社会に貢献すること」といえます。

そして日本でも東日本大震災を契機に、多くの人がボランティア活動に参加したり、興味を持つようになりました。それ以降、大きな災害が発生すると、「お互い様」という気持ちから遠方からでもボランティア活動に駆けつける人が増えました。尾畠春夫さんというスーパージョランテアが存在することも知りました。

大学でも、社会的視野を広め卒業後に、地域社会でも貢献できる人を育てるため、一定の要件を満たせば学部の単位を認定することも活発になりました。調布市にある電通大や百合女子大にもボランティアサークルがあるそうです。私達のシルバー活動の中でも、

時として就業の枠を超えて、ちよつとした社会福祉のお手伝いに関わるケースもあると思います。「思いやり」や「お互い様」をベースにした人間関係も気持ちの良いものです。

そして調布市でも、今年ラグビーワールドカップ、来年は東京オリンピックとパラリンピックが開催されます。会員の中にもこれらのイベントにボランティアとして関わる方がいらつしやると思います。

なお、来年の秋には「ボランティア体験記」を掲載したいと思います。

私達シルバーの会員の中にも、ボランティア精神が根付くことを願ってやみません。

（広報委員会）

調布市シルバー人材センター
働くよこび 社会参加

就業のよろこび

(100)

感謝の日々

北部家事援助班

蝦名みつの



シルバーに入ってもう10年

も過ぎました。あつと言う間でした。思い返せば多摩川の土手を散歩がてらに事務所に寄ったのがキツカケでした。事務所の方に付き添われて、ゆうあい福祉公社を見学させてもらいました。3年位ゆうあい福祉公社で就業した後、今はちようふの里にいます。

今の仕事は、入所の方の洗濯業務です。それに伴う回収は1日4回、それを仕分け、洗い、乾かしたため、配布する。それとシーツ類の整理と多種多様です。結構体力が必要です。配布で部屋に入り眠っていると思ひ静かに背を向けたら「どうもありがとう」と言葉が返ってきた時の気持ちは何事にも代えがたいうれしきで、「どういたしまして」と笑顔で返します。疲れも吹っ飛んでしまいます。

この仕事の他に今、私は地区委

員と家事援助班の北部地区リ

ダーをやらせてもらっています。

行事などの案内を配布しながら、今回は何人参加してくれるかなんて不安になったり、また会報を配りながら話をする時、やっぱり楽しくなります。でも、楽しい時ばかりではありません。つらい時だつてあります。シフトの都合上集会に参加できない時、新人が入つて来て、思うようにいかない時、仕事仲間とちよつとした気持ちがちがすれ違った時等、体の疲れより気持ちの疲れが大きい時は、つい愚痴つたり。そんな時は、皆年下の仕事仲間ですが、私の愚痴も聞いてもらっています。最高のパートナーたちです。

今まで続けてこられたことに感謝してもしきれないほどです。皆さんに手足を引っ張ってもらいながら、これからも頑張っていきたいと思ひます。シルバーで出会った仕事で出会えた皆さんありがとうございました。

運転免許返納し健康就業

塗装班

平井 芳郎



退職後、目的も無く暫く無駄

な時間を過ごす時期もありました。そんな時知人から「何かしていないと衰えは早いぞ」と言われ、以前シルバー人材センターからお誘いのチラシを貰った事を思い出して早速入会説明会に参加する事になりました。

そして入会後に会員研修を受け、暫らくして塗装班に所属することになりました。そして何事も、自分の予想とかなり勝手が違う事を痛感させられました。

現場の状況から作業手順、前処理等日々勉強の毎日でした。そんな塗装作業の他に、まず言われた事は「信用が第一、素人だと思わせる様な行動はするな」「依頼主に聞かれ適当な返事はしてはいけない」ことなど、一般常識的な事の指導を受けました。

そんな私も多少経験を積みまし

たが、塗装歴五十年のメンバーと一緒に仕事をする機会では毎日新しい発見があり、今でも勉強の毎日です。

私は幸いにして82歳の現在、まだ足腰には異常はありませんが、目と歯は何ともならず定期的に通院を欠かせなくなりました。

また昭和三十二年から車に乗っていますが、高齢者の大事故が余りにも多い昨今、無事故の内にと免許を返納する事にしました。車が無いと実に不便ですが、大きな事故を起こすと相手は勿論、家族や周りに大きな迷惑を掛け、悲しい思いをさせることになりました。息子も返納を口には出しませんが、心配している様子が手に取るようにわかっていました。

今は買い物にも仕事の現場にも自転車で向かっています。調布ヶ丘の自宅から深大寺北町方面、仙川方面は登り坂が厳しいですが、毎日乗っていると足腰の強化にもなると信じ、今日も現場に向かうペダルに力が入ります。

のびのび広場

私のボランティア活動

パソコン班

角方 弘幸



私のボラン

ティアのきつ

けは平成3年に発足した社内有志によるボランティアグループ「端数倶楽部」(会員数約340人で給与の一部を寄付)の運営委員募集に応募したことです。端数倶楽部は当初寄付活動が中心でしたが、私は行動企画グループリーダーとして海外ボランティア活動を企画立案し、最初のフィリッピンキャンプでは「井戸堀り」を実施しました。私をボランティア活動に駆り立てるものは、「現地の人々と力仕事で協力して井戸が完成した時のみんなの笑顔と感動」を得られたからです。国際交流を深めその後、植林等で中国・カンボジア・ラオスへと行動範囲を拡大してカンボジアへ小学校を1棟寄贈。私もカンボジアへ行って木製ブランコ造りを経験し、20年間運営委員として活動しました。

私にとってボランティア活動は

ごく身近な楽しい活動というイメージが強く、退職を機に大きな変化はなく、未知の分野への好奇心旺盛な性格から益々ボランティア活動に関わりたいと考えています。退職後はフリーの時間が増えます。退職後はフリーの時間が増え調布市国際交流協会の日本語ボランティアに登録し、昨年開催された国際オーボエコンクールの演奏者サポートボランティアや、病院の受付補助ボランティアも経験しました。特にスポーツ関連のボランティアでは「東京マラソンのボランティア(給水支援等)」を3年継続中で、地元開催のラグビーワールドカップや来年の東京オリンピックのボランティアも応募。但し、ラグビーのボランティアは調布駅前のファンゾーンでの活動となっていましたので、東京スタジアムのフラランス対アルゼンチン戦のチケットを早速購入しました。東京オリンピックは「競技ボランティア」希望のため、選手達の近くでボランティア活動を実現したいと思っています。

郷土ヒストリア

⑦

国史跡深大寺城跡

深大寺のほど近く、都立神代植物園分園の水生植物園内に、戦国時代前期の城、深大寺城跡があります。

深大寺城は、十五世紀末頃に築城されたと考えられます。

江戸城を築城した太田道灌の主人として有名な関東管領の一族・扇谷上杉定正は、その太田道灌を暗殺したことに端を発した同族・山上杉氏との抗争の真つ只中にある

中心に勢力を持っていた山内上杉氏に対して、扇谷上杉氏は河越城(埼玉県川越市)に本拠を置き、

武蔵国・相模国に版図を広げており、深大寺城は、まさにその主要拠点(領国)を結ぶ「つなぎの城」の役割を果たしていました。

十六世紀に入り、小田原北条氏が関東制覇に乗り出すと、扇谷上杉氏は次第にその領国を狭められていきます。深大寺城が次に取立てられるのが、定正から三代のち

の当主・朝定の時代です。当時、十三歳であつた朝定は、北条方に落ちた江戸城奪還と多摩川以北に進出してきた北条領国に対抗する「境目の城」として深大寺城を再築城します。しかし、その間、北条氏により扇谷上杉の本拠・河越城を奪取され、深大寺城は役割を果たすことなく廃城します。江戸城・河越城ラインを抑えた北条氏にとって、深大寺城はもはや支城化する意義もなかったのです。

北条氏に改変されず、戦国時代前期の城郭の様子が良く保存されている貴重な城ということ、国の史跡に指定されました。都心近傍の城跡で、戦国争乱に思いを馳せてみてください。

(調布市郷土博物館 立川)



深大寺城1・2郭(水生植物園湿地から)

総務部会だより

「総務部会」をよろしく!

当シルバー人材センターは、事業運営をより効果的に推進するため、理事会の下に「総務部会」と「事業部会」の2つの専門部会を設置しています。

各専門部会は、事業運営に関する方針及び計画の策定等について討議し、理事会に意見を提出し、報告します。そして理事会で様々な方針や計画が決定されます。

今年6月の総会后、総務部会メンバーが大幅に交代いたしました。全員が新たな気持ちで、大事な役割を確実に果たしていく所存です。会員の皆様がお持ちの「会員のしおり」等にも若干の説明がありますが、総務部会の主な役割を改めて紹介させていただきます。

総務部会は、総会や理事会等に関わる諸事項のスムーズな運営を行います。

そして毎月開催される理事会では、会員の入退会の審査、事業状況の点検、センターを取り巻く

様々な課題の検討等が行われ実行に移されます。

また、会員の皆様が所属する地区班活動の推進や支援、多摩川クリーン作戦等のボランティア活動の推進や、役員視察研修を企画し実施しています。その他にもチラシの配布等センターの宣伝・普及啓発等を行います。

そして、傘下に広報委員会を常設し、会報の発行や今後はホームページの活用推進を行う計画です。この広報委員会は総務部会の理事5名と一般会員1名、事務局職員2名の8名で構成されています。最後に会員の皆様には各イベントへの積極的な参加を通して、就業以外の地域貢献や仲間作りを楽しんで頂きたいと思えます。

〈秋のイベントのお知らせ〉

★11月10日(日)多摩川クリーン作戦

★12月1日(日)福祉まつり

福祉まつりでは例年の通りシルバー人材センターも野菜や花等の販売で協力を予定しています。

(総務部会)

事業部会だより

事業部会新体制始動

7月16日、令和元年度第2回事業部会を開催しました。議題は、(1)事業計画(2)会員研修計画(3)その他です。

改めて会員の健康と安全の確保、会員の拡大、事業の拡大を目標とし、各施策に取り組むこととしました。

事業の拡大は、請負・派遣等はもちろんですが、具体的には、中国語教室を11月には開講の予定で進めています。空き家対策事業については、調布市と連携して実施することも若干の時間を要します。その他に地域に密着した事業として、農業支援等新しい切り口で取り組みます。

会員研修は、「接遇研修」「普通救命講座AED」「認知症関連の研修」を実施します。

先般、職群班リーダー主催の5つの班会議に出席しました。理事と事務局の出席は、会員の皆さんの意見や要望をお聞きし、理事会や事務局との連絡・調整に当たり、

場合によっては支援・指導を行い、会員の皆さんが働きやすい環境を作ることにあります。

学童・小学校・児童館各班の会員は、子供達に愛情をもって業務遂行に当たっている様子が伺え、頼もしく微笑ましい会議でした。

また、総合福祉センター班は、受付業務等の担当と施設管理業務の担当の合同班で相互に支え合っ

て仕事をしていました。実篤班では9名中4名が交代したため意識合わせの会議となりました。小学校班で、学校の行事等の連絡が遅い時があり、できるだけ早く情報が欲しいとの要望がありました。

事務局からは、昨年と今年の事故発生状況から、熱中症と自転車・歩行中に関わらず転倒事故防止の注意喚起を行いました。

(事業部会)



安全管理委員会だより

安全就業強化月間（7月）に安全点検の実施をお願いしました。

全職群班から実施報告をいただきました。

お忙しい中、会員・安全支援員（職群班リーダー）の皆様には感謝いたします。

安全点検10項目の結果より全職群班の方々、安全への意識が高まっています。

また、安全心得10ヶ条の項目は、職群班によっては関係ない項目があると思われるのですが、すべて関連してくると思います。

一、器具類は、使用前に必ず点検すること。

☆器具の使用しない就業場所では、設置什器、環境の確認をしましょう。

☆器具以外に、就業場所の地形等確認しましょう。

一、作業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。

☆すべての現場で、就業前に体をほぐすことは、とっさの時に

動きやすくなります。

一、共同作業では、合図、連絡を正確に行なうこと。

☆一人作業でも心の中で行いましょう。

平日頃、安全心得10ヶ条を意識して、健康で楽しく就業しましょう。
（安全管理委員会）



＜今年度の安全研修予定＞

10月17日（木）ストレッチ体操研修

11月29日（金）ウォーキング研修

12月 安全就業強化月間



令和2年度安全標語募集中

別添の応募用紙にてお申し込みください。多数のご応募お待ちしております。

安全ニュース

**ウォーキング研修会
参加者募集!!**

「ぴんしゃんウォーキング」

デューク更家流美しい歩き方を学ぶことで、健康に美しく、そしてケガをしない身体を作りましょう。

日時 令和元年11月29日（金）
午後2時～

場所 ここの健康支援センター
定員 30名（先着順）

講師 デュークズウォーキング
社）ぴんしゃん
ウォーキング協会

シルバー人材センター事務局まで
お電話でお申し込み下さい
TEL 042-487-9375

自転車事故の防止

平成30年度の当センターで発生した傷害事故23件のうち4件が就業途上の自転車事故です。今年度初めての傷害事故も自転車事故でした。

自転車使用時の事故防止



- 雨の日はできるだけ使用しない
- 傘をさしながら運転をしない（法令違反）
- ながら運転しない（イヤホン・スマホ等）（法令違反）
- 薄暮（夕方）から早めのライト点灯をすること
- サドルは足面が地面にぴったり着く高さにする
- ブレーキが利くか乗る前に確認する
- 急ブレーキで停止できるスピードで走行する

これからの事業予定

令和元年	10月8日(火)	就業希望会員の相談会
	10日(木)	入会説明会
	10日(木)	中部地区全員交流会
	11日(金)	西部地区全員交流会
	15日(火)	配分金支払い
	16日(水)	北部地区全員交流会
	17日(木)	新入会員研修
	17日(木)	東部地区全員交流会
	18日(金)	第6回理事会
	24日(木)	南部地区全員交流会
	11月10日(日)	多摩川クリーン作戦
	14日(木)	入会説明会
	15日(金)	配分金支払い
	21日(木)	新入会員研修
	22日(金)	第7回理事会
	12月1日(日)	福祉まつり
	12日(木)	入会説明会
	13日(金)	配分金支払い
	19日(木)	新入会員研修
	20日(金)	第8回理事会

就業会員急募

あなたの力が必要です！

除草・草刈り・襖・障子張替え・
植木の剪定・塗装・刃物研ぎ・
和裁・大工・左官
・ぜひ事務局までお問い合わせくだ
さい。

事務局TEL: 042-487-9375

事務局だより

〈人事異動〉

臨時職員として、1年4か月間、
協力いただきました茂住秀美さん
が7月31日付で退職されました。

また、10月1日付で臨時職員と
して、遠藤昌子さんが採用されま
した。よろしくお願いいたします。

〈会員手帳の受け渡し〉

申込された方には、11月1日
(金)より事務局にてお渡しいた
します。どうぞお越しください。

〈自転車保険

「サイクル安心保険」のご案内〉

センターが加入する「シルバー
保険」は、自転車を利用した賠償
事故(加害事故)をはじめとして、
経路上における賠償事故は補償
対象外となります。

以前にもご案内しましたが、東
京都シルバー人材センター連合か
らお得な自転車保険があります。
この保険パンフレット(加入申込
書付き)はセンター事務局に用意
しております。

事業実績内訳表

令和元年	5月	6月	7月
会員数	1,626	1,621	1,627
受託件数	860	868	859
就業実人数	980	1,004	1,045
契約金額(千円)	55,818	55,502	61,320

新入会員数 (R1年6月～R1年8月)

地区	男	女	計
東部地区	4	5	9
西部地区	8	3	11
中部地区	3	3	6
南部地区	8	8	16
北部地区	7	3	10
計	30	22	52



是非、この機会に加入をご検討
ください。

編集後記

技術が進歩し、世の中スマホ
を使う高齢者も多くなりました
が、ガラ携を持っていてもメー
ルを使えない方がいらつしやる
のも事実ですよ。実は私もそ
の中の一人でした。最近、息子
に教わりながらやつと使い方を
マスターしたばかりです。

この号では、近々運用をス
タートする「通称スマ・スマ」
について特集を組みました。

読んでみてチンプンカンプン
な感じを持った方もいらつしや
いますよね。でも大丈夫！パソ
コン班の仲間や事務局の方々が
皆さんをサポートしてくれる体
制を整えますので安心して下さ
い。

広報委員になり、初めての会
報編集に戸惑いも感じながらも、
なんとか発行にこぎつけました。
これから秋も深まり紅葉も美し
くなる時期を迎えます。どんな
メールが届くのか、楽しみにし
ている今日この頃です。

(木村静枝)